

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2006-55259(P2006-55259A)

【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-238190(P2004-238190)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月20日(2009.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報が表示されその背面側が透視困難な表示状態から、その背面側を透視可能な透過状態に切り替えられる表示部を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技球が打ち込まれる遊技領域を前面側に有する遊技盤と、

前記遊技盤の遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な入球部と、

前記入球部に入球した遊技球を検出する入球検出手段と、

前記入球検出手段による遊技球の検出に応じて、背面側が透視困難な状態であつて識別情報が表示される表示状態から、該表示状態よりも背面側を透視し易い透過状態に切り替えられる表示部とを備え、

前記透過状態とされた前記表示部の背面側にて、所定の演出が行われるようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1乃至2に記載の遊技機において、

前記入球検出手段による遊技球の検出に基づいて遊技球が入球可能な状態とされる開閉入球部と、

前記開閉入球部に入球した遊技球を検出する検出部とを備えるとともに、

前記開閉入球部に入球した遊技球が前記表示部の背面側に誘導されるように構成され、前記検出部は、

前記表示部の背面側における一方の領域に誘導される遊技球を検出する第1検出部と、前記表示部の背面側における他方の領域に誘導される遊技球を検出する第2検出部とをして構成され、

前記第1及び第2検出部によりそれぞれ規定の割合で遊技球が検出されたことに基づき、遊技者にとって有益な特典が付与されることを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項1乃至3に記載の遊技機において、

前記入球検出手段の検出の有効期間を開始させる制御を行う検出開始制御手段を備え、

前記検出開始制御手段によって開始された有効期間に前記入球検出手段による検出がさ

れた場合に、前記開閉入球部を入球可能な状態に変化させることを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 に記載の遊技機において、

前記表示部の表示面が、前記遊技盤の前面よりも前方に配置されていることを特徴とする遊技機。